

卷末資料

1. DIGSUSS 仕様書 (案)

DIGSUSS 仕様書 (案)

1 タブレットアプリ機能仕様

(基本仕様) ※3.3 節において構築した DIGSUSS 仕様

1.1 地図表示機能

1.1.1 地図表示

- 画面を2ペインで表示し、右側の領域に地図を表示する
- 地図を拡大・縮小して表示できる
- 地図・地形図・航空写真を切り替えて表示する
- 凡例ボタンをタップしたときに地図領域に凡例(レーダ雨量)を表示する

1.1.2 GPS マーカ

- 緯度経度情報が付与されているツイートに関して地図の該当位置にマーカ表示する
- GPS マーカはツイートされてからの経過時間に応じてマーカ色を変更して表示する(5段階)
- GPS マーカの形状はバルーン型とする
- GPS マーカをクリックしたときにツイート内容を表示する

1.1.3 場所推定マーカ

- ツイート本文等から場所推定された該当場所を地図にマーカ表示する(5段階)
- 場所推定マーカは各市町の代表地点(市町村庁舎の位置)に表示する
- 場所推定マーカは過去1時間の同場所におけるツイート件数に応じてマーカ色を変更して表示する(5段階)
- 場所推定マーカの形状は丸形とする
- 場所推定マーカをクリックしたときに、同場所に推定されたツイート内容を表示する

1.1.4 レーダ雨量

- 国土交通省 C バンドレーダ雨量/X バンドレーダ雨量を地図に重ねて表示する
- 設定により C バンドレーダ雨量/X バンドレーダ雨量の表示切り替えが可能
- 地図の拡大縮小に合わせてレーダ雨量画像も拡大・縮小表示する

1.2 タイムライン表示機能

1.2.1 タイムライン表示

- 画面を2ペインで表示し、左側の領域にツイートをタイムライン表示する
- ツイートの日付・名前・本文・推定場所を表示する
- ツイートの収集キーワード(検索キーワード)を強調色で表示する
- 収集したツイートを上から下へ最新データを順に挿入して表示する
- 新規ツイートを取得した場合は、上からデータを追加する
- スクロールによりタイムラインエリアの下端に達すると過去データを取得し、タイムラインの下に追加して時間順に表示する

1.2.2 画像アイコン

- 画像アイコンをクリックしたときに画像を表示する

1.2.3 GPS アイコン

- 該当する GPS マーカをクリックしたときに MAP 中央に移動する

1.2.4 場所推定アイコン

- 該当する推定マーカをクリックしたときに MAP 中央に移動する

1.2.5 表示フィルタ

- 選択市町村・選択都道府県の選択で、設定画面で選択した県・市町村のツイートデータのみフィルタリングして表示する

1.2.6 検索機能

- 検索期間を指定して検索できる
- 検索条件として、GPS・推定・なしの複数選択が可能
- 検索条件として、画像の「有り」・「無し」・「両方」を選択が可能
- 入力できるフィールドを備えること。(起動時は空白)
- ユーザー名・本文を対象として検索が可能
- 検索結果はタイムライン時と同様に表示が可能

1.3 設定機能

1.3.1 監視エリア設定

- 都道府県別の市町村選択可能
※2015 年度実証実験時は「九州」地方のみ設定

1.3.2 雨量エリア設定

- 国土交通省 C バンドレーダ雨量／X バンドレーダ雨量を設定可能

2 収集サーバ機能仕様

2.1 ツイート収集機能

2.1.1 ツイート収集

- 設定された検索キーワードを用いて、TwitterAPI からツイートを収集する
- 検索キーワードは 10 個のキーワードを設定可能
- 検索キーワードにアンド条件(最大3ワード)を設定可能
- 除外文字を設定可能

2.1.2 場所推定

- ツイート本文中の地名からツイート内容／発言場所の推定を行う
- 都道府県・市町村のレベルで場所推定を行う

2.2 レーダ雨量収集解析機能

- 国土交通省 C バンドレーダ雨量／X バンドレーダ雨量データを受信する
- レーダ雨量データを解析しタブレットアプリで表示できる形式に変換する

2.3 アプリ連携機能

- 収集したツイート情報・レーダ雨量データをタブレットアプリに配信する

3 追加検討仕様

- 写真のサムネイル表示機能
- 期間を指定してツイートデータをダウンロードする機能
- ツイートから Twitter ユーザーのサイトが閲覧できる機能
- ツイート数の変化から災害発生状況を推定して表示する機能(発災推定)